

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

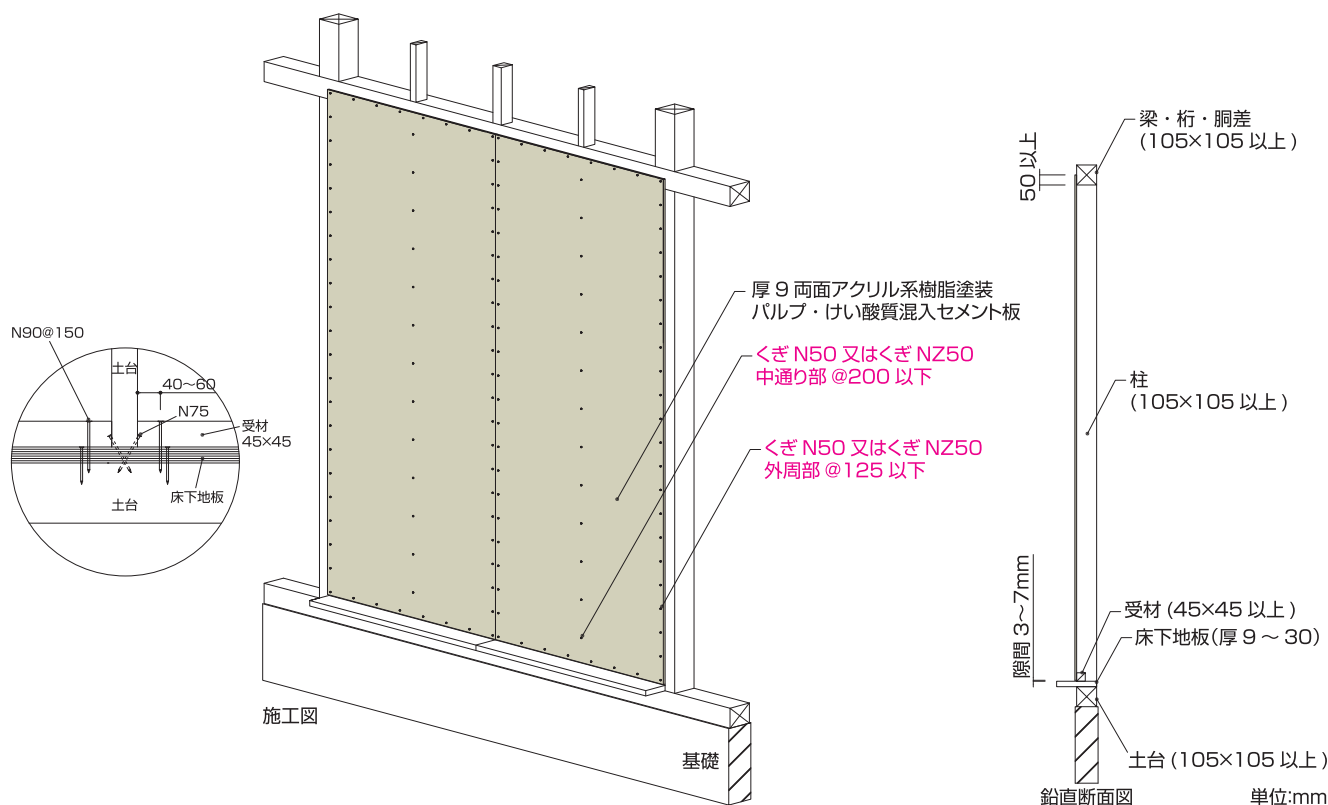
『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@125mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス株)をお薦めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス株)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。